

2020年(令和2年)

6月16日

火曜日

日刊工業新聞

購読申し込みは
フリーダイヤル
東京:0120-412346
大阪:0120-597117
名古屋:0120-462346
福岡:0120-817120

ものあす/
QRコード
monoasu.jp

本社(TEL)03-5644-7000東京都中央区日本橋小網町1-1/大阪支社(TEL)06-6946-3321大阪府中央区北浜東2-16/名古屋支社(TEL)052-931-6151名古屋市東区泉2-21-28/西部支社(TEL)092-271-5711福岡市博多区古門戸町1-1

TYPE OF
INDUSTRY

機械・航空機

大容量機種を小型化

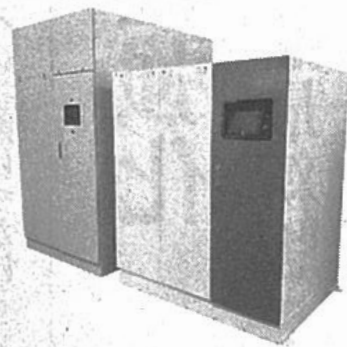
アドバン理研 窒素ガス発生装置

【京都】アドバン理研(京都府八幡市、辻泰成社長、075・972・3838)は、窒素ガス発生装置「LHP」について、1時間当たりの発生量が60立方分(99・99%純度)の大型能力機種で

容積を従来比40%減と小型化した「LHP4-600」を追加した。半導体など大型工場でのダウンサイズと能力大型化の要望に応えた。消費税抜きの価格はパッケージタイプで1270万円。

第2種圧力容器の適用を受けない容積40リットル未満のアルミニウム製吸着タンクの配置レイアウトを工夫し、小型化を実現した。

寸法は幅1536ミリ×奥行き1140ミリ×高さ1790ミリ。同クラスの従来機に比べ容積が40%減となり、高さは535ミリ低いが、LANケーブルで接続すれば遠隔制御も可能で、現場での設置が楽だった。



LHP4-600(右)と従来機

自由度が高い。

機器組み込みタイプ

(消費税抜きで1150万円)、屋外パッケ

ジタイプ(同1390万円)もそろえた。

ガス発生量が40立方分

のタイプを商品化済み

だが、一段と大容量化

した製品への要望が多

かった。